

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	03	01	0401	河川排水路改修事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実		
	施策	2	自然災害対策の強化		
目的	水害の防止				
対象	河川・排水路沿線の住民(市民)、整備が必要な河川、排水路				
意図	河川・排水路が氾濫しないように整備する。 河川・排水路の健全な環境を整備する。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
【25年度】	排水路整備 9カ所 工事延長L=385m ( 竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路、中沢川、宇南川、北向地区排水路)				
【26年度】	排水路整備 16カ所 工事延長L=537.3m ( 雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路、竈堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、大谷地地区排水路、南万丁目排水路、湯本地区排水路、八日市地区排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、田中地区排水路、宇南川)				
【27年度】	排水路整備 13カ所 工事延長L=557.35m ( 竈堰排水路、田中地区排水路、二枚橋排水路、湯本地区排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢川、湯沢野排水路)				
市民参画の有無	[ 対象外 ]				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 当該年度の河川排水路改修工事発注件数	件	計画	8	6	
		実績	8	6	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 氾濫常襲箇所改修率 (3箇所：全1,465m)	%	目標	18.0	27.0	
		実績	22.0	33.5	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
平成25年度から現在改修計画中の氾濫常襲箇所 (3箇所) の計画延長に対する各年度の改修予定延長の割合を目標値として設定する。 氾濫常襲箇所の改修率 = 改修延長 / 氾濫常襲箇所計画延長 (3箇所：1,465m)	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 向上余地がある ○ 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
<ul style="list-style-type: none"> <li>改修箇所ごとに適正な工法検討、コスト削減の検討を図り、工事費の削減に努めている。</li> <li>その成果から、できるだけ整備延長の延伸を図り、事業推進に努めている。</li> </ul>	

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 重茂 猛 内線 576

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	03	01	0401	河川排水路改修事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		115,995	79,147		△ 36,848
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	113,844			△ 113,844
	一般財源	2,151	79,147		76,996

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標  
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯

水害防止、河川水路の環境整備のため改修工事を実施している。現在は各地域からの要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

【25年度】  
排水路整備 9カ所 工事延長L=385m (管堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、落合北排水路、湯沢野排水路、中沢川、宇南川、北向地区排水路)

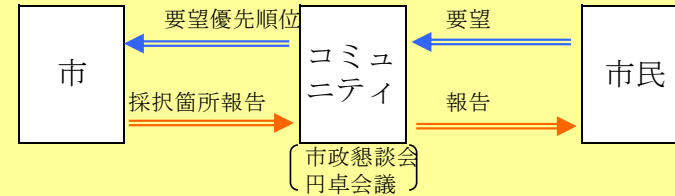
【26年度】  
排水路整備 16カ所 工事延長L=537.3m (雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路、管堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、大谷地地区排水路、南万丁目排水路、湯本地区排水路、八日市地区排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、田中地区排水路、宇南川)

【27年度】  
排水路整備 13カ所 工事延長L=557.35m (管堰排水路、田中地区排水路、二枚橋排水路、湯本地区排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢川、湯沢野排水路)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・工事の計画、設計は説明会の開催等により地域住民の意向を十分捉え、ニーズに応える。
- ・計画、設計に対する発注者側の精度を上げるため、最適工法、新技術、コスト縮減策に対する情報収集(インターネット、情報誌、研修会等の活用)に努める。
- ・要望箇所の内容を見極めるため、現地踏査により現地を把握し必要性を再確認して地元協議等に取り組み、有効的に要望箇所の整備を進める。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【25年度】

- ・排水路整備事業(氾濫常襲箇所) 3箇所  
(雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路)  
工事延長 L=154m
- ・排水路整備事業 9箇所  
(管堰排水路、里川口排水路、二枚橋排水路、雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路、中沢川、宇南川、北向地区排水路)  
工事延長 L=298m  
事業費 102,509千円

【26年度】

- ・排水路整備事業(氾濫常襲箇所) 3箇所  
(雀田川排水路、二枚橋排水路、湯沢野排水路)  
工事延長 L=208.7m
- ・排水路整備事業 13箇所  
(管堰排水路、里川口排水路、横志田地区排水路、大谷地地区排水路、南万丁目排水路、湯本地区排水路、八日市地区排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、田中地区排水路、宇南川)  
工事延長 L=328.6m  
事業費 115,995千円

【27年度】

- ・排水路整備事業(氾濫常襲箇所) 3箇所  
(雀田川排水路、横志田地区排水路、湯沢野排水路)  
工事延長 L=168.8m
- ・排水路整備事業 10箇所  
(管堰排水路、田中地区排水路、二枚橋排水路、湯本地区排水路、川原町排水路、江曾地区排水路、後通排水路、山下川、薬師神社排水路、大沢川)  
工事延長 L=408.55m  
事業費 79,147千円

※年度ごとに地域要望の状況により、予算内での別箇所対応もあり得る。